

令和5年第2回定例会（6月議会）

予算特別委員会農林水産分科会
付託議案関係資料

（補正予算関係）

令和5年6月13日
農 林 水 産 部

目 次

1	6次産業化施設緊急整備事業〔農業経済課〕	1
2	輸出拡大プロモーション事業〔農業経済課販売戦略室〕	3
3	あきたの魅力ある水田農業確立対策事業〔水田総合利用課〕	6
4	(新) 土地改良区決済金等支援事業〔水田総合利用課〕	8
5	(新) 化学肥料低減機械等導入支援事業〔水田総合利用課〕	10
6	(新) 晩霜害からの果樹産地復旧支援事業〔園芸振興課〕	11
7	秋田牛輸出推進事業〔畜産振興課〕	13
8	畜産経営維持緊急支援事業〔畜産振興課〕	15
9	(新) 酪農経営安定緊急対策事業〔畜産振興課〕	17
10	土地改良区電気料金等緊急支援事業〔農地整備課〕	19
11	漁業資源維持・経営安定化緊急支援事業〔水産漁港課〕	21
12	林業成長産業化総合対策事業〔林業木材産業課・森林資源造成課〕	23
13	再造林優良種苗確保事業〔森林資源造成課〕	25

1 6次産業化施設緊急整備事業

農業経済課

物価高騰に直面する農業経営体に対し、付加価値が高く高品質な6次産業化商品の加工等に必要な機械・施設整備を支援する。

1 事業内容

(1) 助成対象 農産物の加工等に要する機械・施設

(2) 補助率 1/3

2 事業主体

農業経営体

3 予算額

42,000千円 (国庫支出金 42,000千円)

(負担金補助及び交付金 42,000千円)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度

令和4～5年度

【参考1】 漬物加工施設の整備に係る県予算の状況

(単位：千円)

年度	予算措置	個人施設	共同利用施設
R 4	当 初	50,648	
	9月補正	23,296	-
	12月補正*	64,833	-
R 5	当 初	-	26,283
	6月補正	42,000	-
合 計		207,060	

※R 5年へ繰越

【参考2】 漬物加工施設の整備状況調査結果

(単位：人)

区 分	整備希望 (A)	R 4 整備済み (B)	R 5 整備予定 (C)	今後の支援対象 (A - (B + C))
個人施設	194	80	31	83 (6月補正で対応)
共同利用施設	238	49	189	0
合 計	432	129	220	83

調査はR 5年4月実施

2 輸出拡大プロモーション事業 【農産物グローバルマーケティング強化事業】

農業経済課販売戦略室

コロナ収束後の台湾における日本産農産物の需要の高まりを受け、県産青果物等の認知度向上や輸出拡大に向けたプロモーションを実施する。

1 事業内容

- (1) 時期 令和5年11月下旬～12月上旬
- (2) 場所 台北市内百貨店（2店舗）
- (3) 内容
 - ・ りんご、ねぎ等の試食・PR販売
 - ・ 現地小売店との商談サポート

2 事業主体 県

3 予算額

7,540千円 （一般財源 7,540千円）

〔	旅費	1,097千円
	役務費、使用料及び賃借料	175千円
	委託料	6,268千円
〕		

4 事業年度 令和5年度

【参考】農産物グローバルマーケティング強化事業の予算概要

(単位：千円)

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
グローバル企業連携輸出ルート拡大事業	6,349	-	6,349
輸出産地育成事業	3,450	-	3,450
海外市場ニーズ対応型栽培体系開発事業	945	-	945
シンガポール輸出ステップアップ事業	18,272	-	18,272
輸出拡大プロモーション事業	-	7,540	7,540
計	29,016	7,540	36,556

台湾・タイへの「まるごと秋田」売り込み スケジュール

		～10月	11月	12月	1月
台湾	販売戦略室	輸入卸業者の 産地訪問		①百貨店での PR販売	
	畜産振興課 (13ページ)	輸入卸業者の 産地訪問	②ホテルでの試食会 スーパーでのPR販売		
			③レストランでのメニューフェア		
		秋田牛のカット 技術研修会	④食ブースでのPR (秋田牛・りんご等)		
	誘客推進課	航空会社等への セールス	秋田への誘客イベント		
タイ	販売戦略室	なし・ぶどう の市場調査			
	畜産振興課 (13ページ)		⑤ホテルでの 秋田牛試食会	秋田牛メニュー コンテスト	
	誘客推進課	東北PR イベント	観光誘客セミナー		

■ 当初予算等

□ 6月補正

3 あきたの魅力ある水田農業確立対策事業

水田総合利用課

秋田米のシェアを維持・確保するため、需要に応じた米づくりを推進するほか、低コスト・省力化に必要な機械・施設等の整備を支援する。

1 事業内容

(1) マーケット対応型秋田米産地拡大事業

燃料・原材料等の価格高騰の影響を受けている農業者の負担軽減を図るため、作業の効率化や低コスト・省力化に向けた農業機械等の導入を支援する。

- ・ 助成対象 スマート農業機械、低コスト・省力化に資する農業機械
- ・ 補助率 1/2

(2) 水田農業基幹施設等整備支援事業

安定的な水田農業経営を実現するため、共同利用施設等の整備を支援する。

- ・ 助成対象 穀類乾燥調製施設、農産物処理加工施設、農業機械
- ・ 実施地区 能代市、上小阿仁村
- ・ 補助率 1/2

2 事業主体

- (1)：農業者等
- (2)：農業法人等

3 予算額

335,137千円

〔	国庫支出金	328,456千円	〕
	諸収入	6,681千円	

(1) : 200,000千円 (負担金補助及び交付金 200,000千円)

(2) : 135,137千円 (負担金補助及び交付金 135,137千円)

(1) : 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度
令和4～7年度

【参考】あきたの魅力ある水田農業確立対策事業の予算概要

(単位：千円)

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
秋田米生産・販売戦略推進事業	290	-	290
マーケット対応型秋田米産地拡大事業	2,452	200,000	202,452
技術支援体制強化事業	3,367	-	3,367
水田農業基幹施設等整備支援事業	-	135,137	135,137
計	6,109	335,137	341,246

4 土地改良区決済金等支援事業（新規）

水田総合利用課

畑作物の本作化を図るため、水田の畑地化に伴う経費を支援する。

1 事業内容

- (1) 対象者 畑地化に取り組む農業者
- (2) 助成対象 畑地化に伴い土地改良区に支払う必要が生じる経費（地区除外決済金、畑地化協力金）
- (3) 補助率 定額（上限25万円／10a）

2 事業主体

地域農業再生協議会

3 予算額

44,466千円 （国庫支出金 44,466千円）
（負担金補助及び交付金 44,466千円）

4 事業年度

令和5年度

【参考】畑地化促進に係る国の支援制度の概要

1 畑地化支援・定着促進支援

水田を畑地化し、高収益作物等の定着を図る取組に対し、生産が安定するまでの一定期間、継続的に支援。

対象作物	畑地化支援 (令和5年度における取組が対象)	定着促進支援 (令和4・5年度に畑地化した面積全体が対象)
高収益作物 (野菜、果樹、花き等)	17.5万円/10a	2.0(3.0 [*])万円/10a × 5年間 または 10.0(15.0 [*])万円/10a (一括)
畑作物 (麦、大豆、そば等)	14.0万円/10a	2.0万円/10a × 5年間 または 10.0万円/10a (一括)

※加工・業務用野菜の場合

【交付の流れ】

国 → 農業者へ直接交付

2 土地改良区決済金等支援

【交付の流れ】

国 → 都道府県 → 市町村 → 地域農業再生協議会 → 土地改良区
(農業者が支払事務を委任)

5 化学肥料低減機械等導入支援事業（新規）

水田総合利用課

肥料の価格高騰に対応するため、化学肥料の使用量低減につながる農業機械等の導入を支援する。

1 事業内容

- (1) 助成対象 化学肥料の使用量低減に効果が高い農業機械等
- (2) 補助率 1/2

2 事業主体 農業者等

3 予算額

70,000千円 （国庫支出金 70,000千円）

（負担金補助及び交付金 70,000千円）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度 令和5年度

6 晩霜害からの果樹産地復旧支援事業（新規）

園芸振興課

令和5年4月下旬の降霜で被災した果樹生産者に対し、翌年の再生産に向けた取組や晩霜に対応できる園地づくりを支援する。

1 事業内容

(1) 被災園地における防除経費への支援

- ・ 対象者 被災した果樹生産者
- ・ 助成対象 降霜後の防除費用
- ・ 補助率 1／3

(2) 霜害回避に向けた施設整備等への支援

- ・ 対象者 果樹生産者
- ・ 助成対象 散水氷結法や燃焼法の実施に必要な施設及び機材等
- ・ 補助率 1／3

2 事業主体

市町村

3 予算額

39,959千円 （一般財源 39,959千円）

（負担金補助及び交付金 39,959千円）

4 事業年度

令和5年度

晩霜害からの果樹産地復旧支援

令和5年6月
農林水産部

経緯

県北部および県中央部を中心に、日本なし等の開花期間中(4月24~25日)の降霜の影響で大幅な減収が見込まれている。

被害の概要

①被害額

約2.5億円(6月7日現在<推計>)

	日本なし		りんご		合計 被害額 (千円)
	栽培面積※ (ha)	被害額 (千円)	栽培面積※ (ha)	被害額 (千円)	
鹿角(鹿角市)	-	-	184	24,673	24,673
北秋田(大館市)	22	26,048	-	-	26,048
山本(能代市、八峰町、三種町)	19	29,575	-	-	29,575
秋田(男鹿市、潟上市、秋田市)	88	156,488	26	781	157,269
平鹿(横手市)	-	-	676	10,236	10,236
雄勝(湯沢市)	-	-	183	3,199	3,199
計	129	212,111	1,069	38,889	251,000

※被害のあった各市町における全栽培面積の合計

②被害の特徴

- 最も低温に弱い満開期に降霜に遭遇し、被害が拡大
- 県北部～中央部のなし産地を中心に全域で被害が発生
- 収穫皆無の農家がいるなど、大半の農家が大ダメージ
- 農薬等の資材が高騰する中で、農家は二重の苦難

【経営収支のシミュレーション】

(円/10a当たり)

	粗収益	-	経営費	=	所得
平年	764,400		411,787		352,613
本年	(95%減収)	26,754	247,217		△ 220,463
	(30%減収)	374,556	396,841		△ 22,285

産地維持に向けて

①現場の声

- 潟上市、JA：生産者支援に関する要望書を県に提出(5月22日)
(要望内容～再生産に向けた技術的、経済的支援)
- 農家：翌年の生産に向けた農薬購入費の助成と
霜害回避技術の普及指導・導入支援などを要望

②支援策の概要

被災した農家が翌年に向けて、安心して営農を継続できるように技術面、経済面の両面でバックアップしていく。

【技術支援】～研修会による対応策の周知～

- 品質の高い果実生産に向け、着果している果実の管理を徹底
- 来年の生産に影響しないよう、防除等の適切な栽培管理を励行
- 来年の被害防止に向け、霜害対策の徹底

【経営支援】～再生産に向けた支援と被害回避対策の実施～

- 農薬費への助成
 - ・防除費用に対する支援(薬剤費高騰分も加味)
- 来年度以降の被害防止
 - ・ハード支援(散水氷結法等の施設整備)
- 運転資金の確保
 - ・農林漁業セーフティネット資金、農業・漁業経営フォローアップ資金、アグリマティ資金(JAで無利子化)など
- セーフティネットへの加入促進
 - ・収入保険加入に向けた青色申告研修の開催など

7 秋田牛輸出推進事業 【秋田牛ブランド推進事業】

畜産振興課

コロナ収束後のタイ・台湾における和牛の需要の高まりを受け、秋田牛の認知度向上や輸出拡大に向けたプロモーションを実施する。

1 事業内容

(1) タイ向け輸出の拡大対策

トップセールスによるメニューフェアを実施する。

- ・ 時 期 令和5年11月上旬
- ・ 場 所 バンコク市内ホテル
- ・ 内 容 秋田牛試食会

(2) 台湾向け輸出の拡大対策

トップセールスによるプロモーションを実施する。

ア 県産品試食会

- ・ 時 期 令和5年11月中旬
- ・ 場 所 台北市内ホテル

イ 県産農畜産物の試食販売

- ・ 時 期 令和5年11月中旬
- ・ 場 所 台北市内会員制スーパーマーケット

ウ レストランメニューフェア

- ・ 時 期 令和5年11月上旬～下旬
- ・ 場 所 台北市内ホテル

エ 食のPRブースでの試食

- ・ 時 期 令和5年11月中旬
- ・ 場 所 台北市内（秋田への誘客イベントと同時実施）

2 事業主体
県

3 予算額

20,664千円 (一般財源 20,664千円)

(旅費 3,450千円
役務費、使用料及び賃借料 200千円
委託料 17,014千円)

4 事業年度

令和4～7年度

【参考】秋田牛ブランド推進事業の予算概要

(単位：千円)

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
秋田牛ブランド推進事業	7,624	-	7,624
秋田牛輸出推進事業	2,647	20,664	23,311
計	10,271	20,664	30,935

8 畜産経営維持緊急支援事業

畜産振興課

飼料価格高騰等の影響により、畜産経営の収益性が著しく悪化しているため、経営維持・再生産に向け、素畜導入や高品質生産等の取組を支援する。

1 事業内容

(1) 中小家畜経営安定緊急対策事業

- ・ 対象者 養豚経営体、採卵鶏経営体、比内地鶏経営体等
- ・ 助成対象 豚・採卵鶏・比内地鶏等の素畜導入、消毒薬の配付
- ・ 補助率 定額

}	種 豚：10千円／頭
	採 卵 鶏：10千円／百羽
	比内地鶏等：5千円／百羽（初生ひな）、8千円／百羽（中ひな・種鶏）
	消 毒 薬：定額（価格高騰相当）

(2) 肉用牛肥育経営安定緊急対策事業

- ・ 対象者 肉用牛肥育経営体
- ・ 助成対象 肥育素牛の導入又は保留
- ・ 補助率 定額（30千円／頭）

(3) 肉用牛繁殖経営安定緊急対策事業

- ・ 対象者 肉用牛繁殖経営体
- ・ 助成対象 日増体重の高い出荷子牛（去勢1.0kg／日以上、雌0.9kg／日以上）
- ・ 補助率 定額（30千円／頭）

2 事業主体

- (1)：秋田県養豚協会、秋田県養鶏協会、J A、(公社)秋田県農業公社、畜産経営体
- (2)：(公社)秋田県農業公社
- (3)：J A等

3 予算額

608,390千円 (国庫支出金 608,390千円)

(1) : 371,390千円 (負担金補助及び交付金 371,390千円)

(2) : 123,000千円 (負担金補助及び交付金 123,000千円)

(3) : 114,000千円 (負担金補助及び交付金 114,000千円)

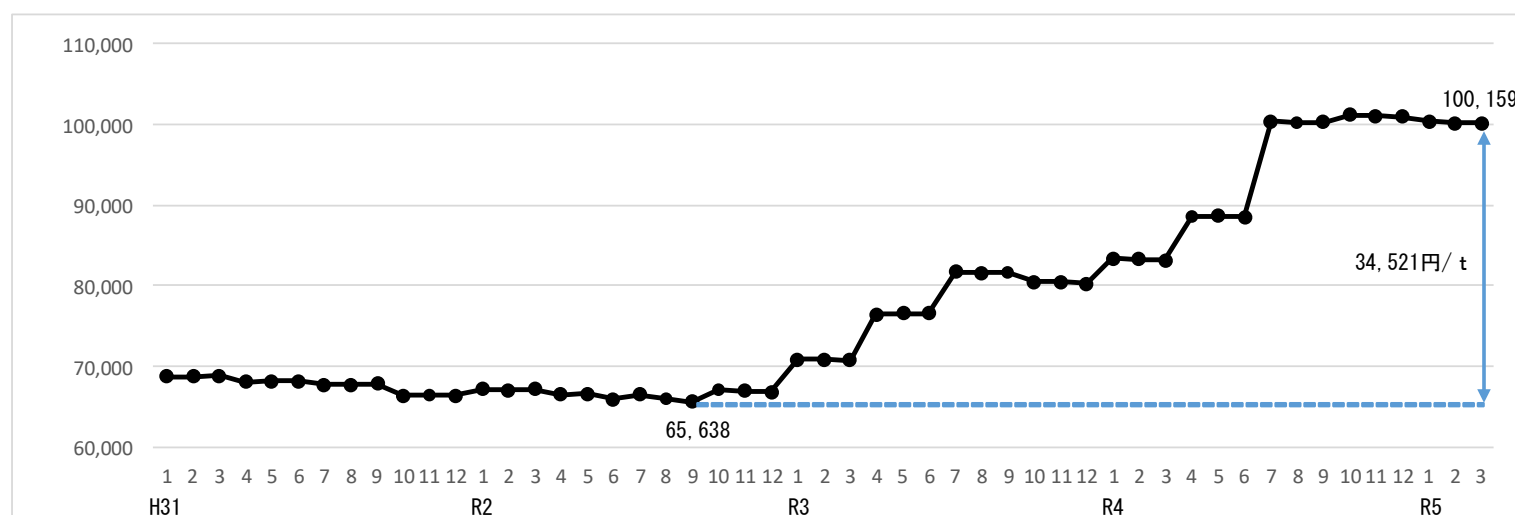
(1)～(3) : 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度

令和4～5年度

【参考】配合飼料価格の推移

(単位：円／t)



配合飼料工場渡価格 (税込み、全畜種加重平均)

9 酪農経営安定緊急対策事業（新規）

畜産振興課

飼料価格高騰等の影響により、酪農経営の収益性が著しく悪化しているため、経営維持・再生産に向け、高品質な生乳生産や集乳運賃の掛かり増しの経費に対し助成するほか、性判別精液を活用した効率的な後継牛確保や受精卵移植による和牛生産を支援する。

1 事業内容

(1) 高品質な生乳生産支援事業

- ・ 対象者 酪農経営体
- ・ 助成対象 高品質（細菌数10万/ml未満）で出荷された生乳
- ・ 補助率 定額（5円/kg）

(2) 集乳運賃支援事業

- ・ 対象者 酪農経営体
- ・ 助成対象 集乳運賃の上昇分
- ・ 補助率 定額（0.5円/kg）

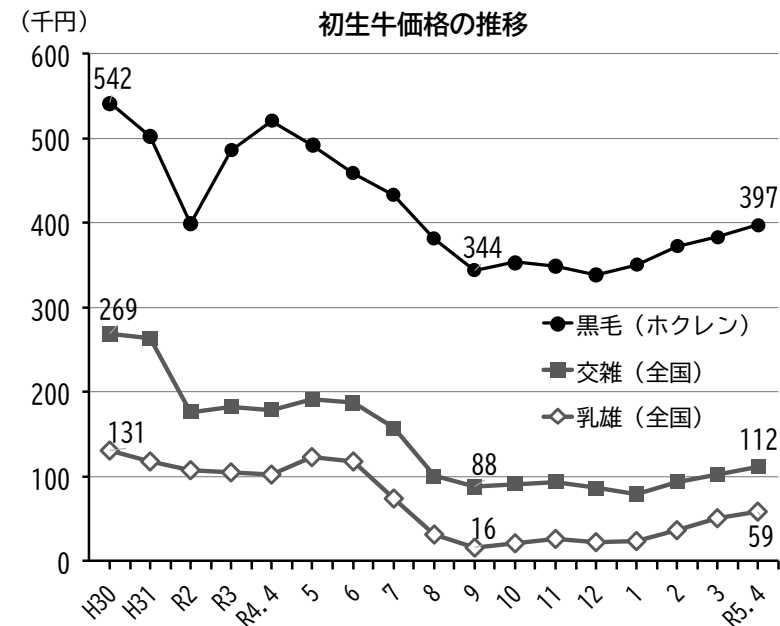
(3) 後継牛確保・受精卵移植支援事業

ア 乳牛の性判別精液の活用

- ・ 対象者 酪農経営体
- ・ 補助率 定額（7千円/頭・回）

イ 黒毛和種の受精卵移植

- ・ 対象者 酪農経営体
- ・ 補助率 定額（20千円/頭・回）



2 事業主体

- (1)、(2)：全国農業協同組合連合会秋田県本部
- (3)：秋田県酪農連盟

3 予算額

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 129,720千円 | (国庫支出金 | 129,720千円) |
| (1)：109,200千円 | (負担金補助及び交付金 | 109,200千円) |
| (2)：7,600千円 | (負担金補助及び交付金 | 7,600千円) |
| (3)：12,920千円 | (負担金補助及び交付金 | 12,920千円) |

(1)～(3)：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度 令和5年度

10 土地改良区電気料金等緊急支援事業 【土地改良区体制強化事業】

農地整備課

電力の価格高騰の影響を受けている土地改良区の負担軽減を図るため、農業水利施設に係る電気料金の高騰分への助成及び省エネルギー化を支援する。

1 事業内容

(1) 電気料金の高騰分に対する助成

- ・ 助成対象 農事用の電気料金の高騰分
- ・ 補助率 10/10

(2) 施設の省エネルギー化に対する支援

- ・ 助成対象 照明のLED化等
- ・ 補助率 1/2

2 事業主体

土地改良区、土地改良区連合

3 予算額

300,000千円 (国庫支出金 300,000千円)

(負担金補助及び交付金 300,000千円)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定



〔高野尻揚水機(北秋田市)〕



〔天王東排水機(潟上市)〕

4 事業年度
令和4～5年度

【参考】土地改良区体制強化事業の予算概要

(単位：千円)

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
土地改良区施設・財務等管理強化支援事業	16,094	-	16,094
土地改良区統合整備促進事業	190	-	190
農業水利管理体制強化支援事業	1,063	-	1,063
土地改良区電気料金等緊急支援事業	-	300,000	300,000
計	17,347	300,000	317,347

11 漁業資源維持・経営安定化緊急支援事業

水産漁港課

餌料や電力の価格高騰の影響を受けている事業者の負担軽減を図るため、水産資源の維持や漁業経営の安定に向けた取組を支援する。

1 事業内容

(1) 内水面種苗生産支援事業

- ・ 助成対象 アユ、イワナ、ヤマメ、サクラマス^{の種苗生産に係る経費}
- ・ 補助率 定額 $\left[\begin{array}{l} \text{アユ} \quad \quad \quad \text{ユ} : 550\text{円/kg} \\ \text{イワナ・ヤマメ} : 2,230\text{円/千尾} \\ \text{サクラマス} : 2,980\text{円/千尾} \end{array} \right]$

(2) 海面漁業放流支援事業

- ・ 助成対象 マダイ、ヒラメ等の放流用種苗生産に係る餌料価格の高騰分
- ・ 補助率 10/10

(3) 漁業関係施設電気料金緊急支援事業

- ・ 助成対象 放流用種苗生産や漁業活動に必要な製氷等に係る電気料金の高騰分
- ・ 補助率 10/10

2 事業主体

- (1) : 放流用種苗生産者
- (2) : (公財)秋田県栽培漁業協会
- (3) : (公財)秋田県栽培漁業協会、秋田県漁業協同組合

3 予算額
28,809千円 (国庫支出金 28,809千円)

(1) : 5,809千円 (負担金補助及び交付金 5,809千円)

(2) : 3,000千円 (負担金補助及び交付金 3,000千円)

(3) : 20,000千円 (負担金補助及び交付金 20,000千円)

(1)～(3) : 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用予定

4 事業年度
令和4～5年度

12 林業成長産業化総合対策事業

林業木材産業課
森林資源造成課

森林資源の循環利用を通じて林業の成長産業化を図るため、森林整備や高性能林業機械等の導入を支援する。

1 事業内容

(1) 間伐材生産・再造林促進事業

- ・ 助成対象 搬出間伐185ha、再造林17ha、森林作業道開設22,099m
- ・ 補助率 定額

搬出間伐	：上限350千円/ha
再造林	：上限850千円/ha
森林作業道開設	：上限 2千円/m

(2) 高性能林業機械等整備事業

- ・ 助成対象 高性能林業機械等の購入及びリース（6者10台）
- ・ 補助率 1/3、4/10

(3) ICT技術活用促進事業

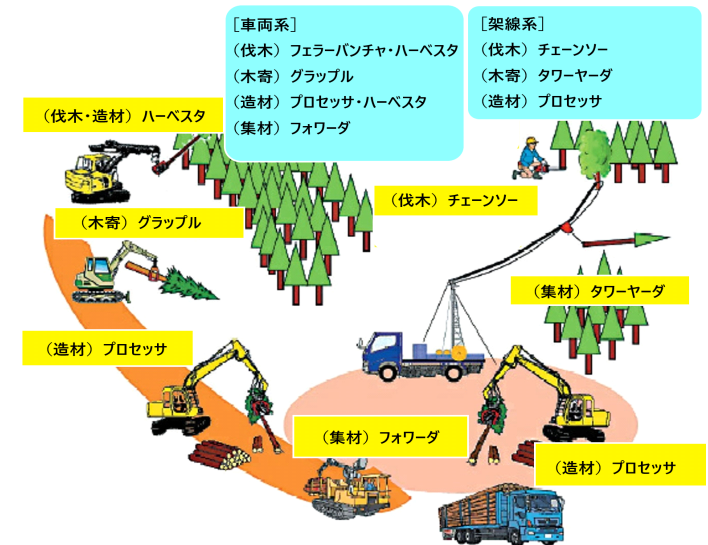
- ・ 助成対象 森林観測システム及び木材検収システムの導入（1者）
- ・ 補助率 1/2

(4) 事業推進事務費

県の指導監督に要する経費

2 事業主体

- (1)～(3)：林業経営体等
- (4)：県

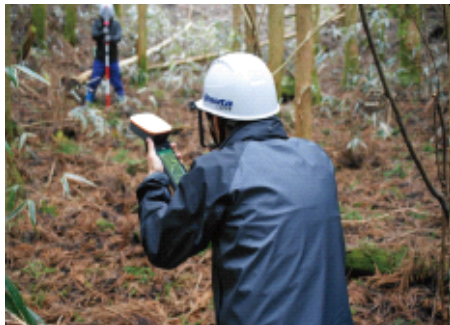


〔高性能林業機械による作業システム〕

3 予算額

201, 215千円	〔 国庫支出金 一般財源	200, 865千円 350千円
(1) : 123, 398千円		
(2) : 75, 670千円	〔 負担金補助及び交付金 75, 670千円	
(3) : 1, 447千円	〔 負担金補助及び交付金 1, 447千円	
(4) : 700千円	〔 旅費、需用費等 700千円	

4 事業年度 平成30年度～



〔 森林観測システム
(スマートフォン等で測量や境界確認) 〕



〔 木材検収システム
(丸太の本数や太さをAIで自動判別) 〕

13 再造林優良種苗確保事業

【カーボンニュートラルに挑戦する再造林拡大事業】

森林資源造成課

再造林に必要な優良苗木を安定的に生産・供給するため、スギエリートツリーの採種施設の整備を支援する。

1 事業内容

(1) 助成対象

- ・ 採種施設 3棟 (497㎡)
- ・ 用地造成 一式
- ・ 生育管理センサー 一式

(2) 補助率 1/2

2 事業主体

民間事業者 (1者)

3 予算額

11,395千円 (国庫支出金 11,395千円)

(負担金補助及び交付金 11,395千円)

4 事業年度

令和4～7年度



〔採種施設 (パイプハウス)〕

【参考】カーボンニュートラルに挑戦する再造林拡大事業の予算概要

(単位：千円)

事業内訳	予算現計	補正額	補正後
造林地集積促進事業	71,000	-	71,000
造林マイスター育成事業	300	-	300
先進的造林技術推進事業	10,160	-	10,160
再造林優良種苗確保事業	15,423	11,395	26,818
あきたの森林若返り普及促進事業	3,773	-	3,773
計	100,656	11,395	112,051